

3 指導業務

県内外の木材加工業、住宅関連企業、建築設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談、指導及び依頼試験の実績は次のとおりである。

3-1 技術相談依頼及び指導

(1) 件数

年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	累 計
材料開発部	31	83	126	74	38	74	50	27	503
木材加工部	62	218	224	189	183	141	133	120	1,270
構法開発部	134	229	355	378	353	287	328	276	2,340
企画管理課	—	—	40	27	33	48	46	34	228
計	227	530	745	668	607	550	557	457	4,341 件

(2) 依頼者内訳数

	企 業	行政機関	個人等	計
材料開発部	25	1	1	27
木材加工部	103	13	4	120
構法開発部	223	46	7	276
企画管理課	29	3	2	34
H20 計	380	63	14	457
H19 計	366	173	18	557
H18 計	392	130	28	550
H17 計	415	185	7	607
H16 計	481	160	27	668
H15 計	548	178	19	745
13~20 累計	3,157	1,043	141	4,341 件

(森林組合等団体は企業に、大学等教育機関は行政機関に含む)

※企業（団体を含む）からの相談が約 73 %

(3) 主な試験及び相談・指導内容

平 成 20 年 度		内 容
	材料開発部	スギ材の乾燥スケジュールについて・木材抽出成分の効果について・スギ材のアルコール可溶成分について
	木材加工部	スギ・ヒノキ異樹種集成材について・集成材の JAS とたわみ計算について・スギパレットの製造方法・家具耐久性試験の評価方法について
	構法開発部	木造建築の構造計算・スパン表における集成材の利用について・韓国向けスギ集成材の耐火認定・韓国伝統木造の接合試験について・スギ LVL の中国輸出について

3-2 依頼試験

(1) 依頼試験実績

(件、円)

年 度	13	14	15	16	17	18	19	20	計
依頼件数	125	141	171	81	50	79	60	115	822
金 額	1,572,860	1,392,610	1,833,485	736,450	632,755	679,68	625,46	618,225	7,479,813

(2) 試験内訳件数

(件)

試験内容／年度	13	14	15	16	17	18	19	20	計
短 柱 圧 縮 試 験	2		1	4	10				17
床 せ ん 断 試 験	14	7					6		27
壁 せ ん 断 試 験	14	6	26	1	8	10		3	68
実 大 振 動 試 験		1		4		9	8		22
曲 げ 試 験	39	20	23	14	9		6	7	118
引 張 試 験	9		5	3	2	1	1		21
長 柱 圧 縮 試 験		2	4						6
熱 伝 導 率 測 定 試 験			1	7		7			15
小 試 験 体 強 度 試 験		56	42	14	8	28	14	23	185
耐 候 性 試 験	22	5	7				8	1	43
接 着 試 験	12	11	7	3				5	38
含 水 率 試 験	6	18	27	5	3	4	5	14	82
乾 燥 試 験 (蒸 気 式)			1						1
収 縮 膨 張 試 験		2	2	1				49	54
家 具 耐 久 性 試 験		4	4	4				7	19
材 質 試 験 (低 倍 率)			3						3
材 質 試 験 (グ レーディング)			1						1
材 質 試 験 (組 織 観 察)			4	1	1	4			10
吸 音 率 測 定 試 験				1	1	4	9	4	19
化 学 試 験 (可 視 紫 外 線 試 験)		1			3	4	1		9
動 的 ヤ ン グ 係 数 測 定 試 験	1	3	6	19	1	6	1		37
摩 耗 試 験			2						2
そ の 他 の 試 験					2				2
成 績 書 の 副 本	6	5	5		2	2	1	2	23
合 計	125	141	171	81	50	79	60	115	822

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

(3) 県内、県外別の試験内訳件数

(件)

年 度	13	14	15	16	17	18	19	20	計
県 内	109	111	130	40	31	52	34	61	568
県 外	16	30	41	41	19	27	26	54	254
計	125	141	171	81	50	79	60	115	822

3-3 研究会等の開催

3-3-1 スギシンポジウム2008（平成20年度）の開催

宮崎県のスギ素材生産量は平成3年から連続して日本一で、わが国有数の国産材供給基地として位置づけられている。特に最近では、地球温暖化防止対策と資源の持続性としての木材利用が注目され、東アジアにおいても木材利用のあり方が再考される状況にあり、このような国際的な動きの中でスギに対する期待と利用がますます重要視されている。このような中、スギの国際的な利用について考えることを目的に開催した。

1 テーマ	「東アジアにおけるスギの未来」
2 期日	平成20年12月18日（木） 13:30～17:00
3 場所	ホテルプラザ宮崎 宮崎市川原町1-1
4 参加者	107人
5 プログラム	・基調講演 演題「東アジアにおける木造建築のもつ意味と今後の展開」 講師：宮崎県木材利用技術センター所長 有馬 孝禮氏 ・特別講演 演題「中国における木質構造基準と木材利用の現状」 講師：中国林業科学研究院木材工業研究所 助教授 殷 亞方氏 中国建築西南設計研究院有限公司 高級技師 ヤン 学兵氏 演題「韓国における伝統的軸組木造の復興と木材利用の現状」 講師：ソウル大学農学生命科学大学 教授 李 銓濟氏 guga都市建築研究所 代表 趙 鼎九氏 演題「東アジアの現地状況にあわせた新しいスギ軸組木造のシステム開発」 講師：宮崎県木材利用技術センター構法開発部長 飯村 豊氏
6 現地見学会	平成19年11月7日（水） (1) 北郷町児童福祉施設 サミットHR工法で平成20年10月に完成した児童福祉施設 (2) 三股町産業会館 サミットHR工法で建設途中の商工会館で平成21年2月に完成予定。 (3) 持永木材株式会社新工場 「新生産システム」（林野庁補助事業）で導入した最新鋭製材工場

3-3-2 木材加工意見交換会

木材の需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、製材・加工・住宅関連企業等の需要ニーズを的確に把握することを目的として、関係者を招き、センターの研究成果を紹介するとともに、センターに対する意見、要望等を聴取する木材加工意見交換会を県内2ブロックで開催した。

会 議 名	期 日	開 催 場 所	参加団体数	参 加 者
第1回 木材加工意見交換会	平成20年 12月 5日	宮崎県高鍋総合庁 舎会議室	団体： 6 企業： 1 行政： 6	25人
第2回 木材加工意見交換会	平成21年 1月28日	木材利用技術セン ター大会議室	団体： 11 行政： 2	21人

3-3-3 都城地区木青会との勉強会

都城木青会を中心とする木材関連業界の関係者と木材利用についての勉強会を開催した。

開催期日	： 平成21年2月17日
開催場所	： 木材利用技術センター大会議室
講演の内容	： スギ乾燥小割材の可能性を探る
講師	： 木材利用技術センター木材加工部長 藤元嘉安氏
参加者数	： 66名

3-3-4 第10回木質構造国際会議の開催

木質構造に係る最新の技術、研究、革新的な設計手法、事例等に関する発表、情報交換する最大の国際会議が宮崎市で開催され、その事務局を担った。

開催期日	： 平成20年6月2日～5日
開催場所	： 宮崎市（宮崎観光ホテル）
開催の内容	： 7つの分科会で、材料、構造、設計、教育、経済、製品、資源、リサイクル、木質建造物、土木、住環境、地球環境、都市計画、景観設計、非破壊評価、地震工学、建築史、耐久性、修復、接合、耐力壁、耐震技術、木橋の23テーマに308件の口頭による論文発表と121件のポスターによる発表が行われた。 本県からも7件のポスター発表が行われた。
参加者数	： 38の国と地域から525名（海外301名、国内224名）

3-3-5 日中韓参加国セミナーの開催

日本、中国及び韓国の3カ国の木材の研究者が、それぞれの地域材の利活用に対する研究成果や技術情報を相互に交互に交換することを目的に開催した。

開催期日	： 平成20年12月17日
開催場所	： 宮崎県木材利用技術センター
開催の内容	： 「地域材の利用、過去未来」をテーマに構法、加工、木材化学の分野で各国3件ずつ計9件の論文発表が行われた。 本県からは、木材利用技術センターから2件と県内の民間企業から1件の計3件の発表が行われた。
参加者数	： 中国林業科学研究院木材工業研究所、韓国ソウル大学、木材利用技術センターの研究員等計25名

3-4 講師派遣

3-4 講師派遣

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬孝礼	2008.8.25	加工技術協会関西支部ワークショップ	木質製品に CO2 固定量表示を行う意義	木材加工技術協会 関西支部
有馬孝礼	2008.10.9	第 23 回全建連大会 ーみやざきー	「なぜ、今木材・木造なのか」	全国中小建築業団体連合
有馬孝礼	2008.10.17	中華木質構造建築協会	木材利用による炭素貯蔵と二酸化炭素放出削減効果	中華木質構造建築協会
有馬孝礼	2009.1.23	インテリア産業協会中部支部 情報交流会セミナー	なぜ、今木材か？	インテリア産業協会中部支部
藤本英人	2008.12.09	シロアリセミナー	シロアリとの共存を目指して	ランバー宮崎
藤本英人	2009.01.19	平成 20 年度「みやざきスギ」セミナー in 沖縄	宮崎県産スギ材の特性とシロアリ	山村・木材振興課
藤本英人	2009.03.06	環境教育の一環としての体験学習	木材の利用と地球環境保全	都城市立祝吉小学校
小田久人	2008.8.28-29	宮崎県林業普及指導員課題研修（林産）	スギ板材の乾燥速度	環境森林課
小田久人	2008.11.28	宮崎県乾燥技術者養成研修	スギ材の乾燥	県木材協同組合連合会
小田久人	2009.2.5	「オビスギセミナー」 東京都	オビスギ材の特徴	山村・木材振興課
藤元嘉安	2008.5.16	社会科見学会	木材の利用と地球環境保全	都城市立祝吉小学校
藤元嘉安	2008.7.26	親子木工教室	木材の利用と地球環境保全	都城市立東小学校
藤元嘉安	2008.10.17	社会科見学会	木材の利用と地球環境保全	都城市立南小学校

3-4 講師派遣(つづき)

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
藤元嘉安	2009.2.16	合同シーズ発表会	低曲げヤング係数スギ材を用いた湾曲集成材の開発	宮崎県産業支援財団
藤元嘉安	2009.2.17	都城木青会勉強会	スギ小割材の可能性について	都城木材青壮年会
藤元嘉安	2009.3.11	高鍋農業高校 視察研修会	木材の利用と地球環境保全 木材の特徴と利用	高鍋農業高校
荒武志朗	2008.8.6	平成 20 年西諸県地区木材需要拡大協議会研修	スギは強い?弱い?	西諸県農林振興局
荒武志朗	2008.8.27	平成 20 年度「みやざきスギ」セミナー in 福岡	宮崎県産スギ材の特徴	山村・木材振興課
森田秀樹	2009.3.5	環境教育の一環としての体験学習	木材の利用と地球環境保全	都城市立祝吉小学校
飯村 豊	2008.11.10	住宅分野への地域材供給支援事業研修会(郡山市)	木造住宅の構造材への地域材利用	住宅・木材技術センター
飯村 豊	2008.1.23	住宅分野への地域材供給支援事業研修会(高知市)	木造住宅の構造材への地域材利用	住宅・木材技術センター
飯村 豊	2008.11.13	構造用集成材の製品計画及び製造に関する講習会	大断面木造建築物の施工計画	日本木材加工技術協会

3-5 取 材

3-5 取 材

氏 名	取材日	取 材 内 容	取 材 名
有馬 孝禮	2008.5.17	県産材の可能性 PR へ 木質構造国際会議	宮崎日日新聞
有馬 孝禮	2008.5	第 10 回国際木構造会議 (WCTE2008) 議長の有馬孝禮氏に聞く	WOODMIC
有馬 孝禮	2008.6	資源持続性への木質構造	住宅と木材
有馬 孝禮	208.6.10	杉産地・宮崎で WCTE 開催	日刊木材新聞
有馬 孝禮	2008.10	対談 ー子供には五感を刺激する教育がー 一番大切ー	スギコレクション 2008in 日向
藤本 英人	2009.3.7	木材研究の成果発表	宮崎日日新聞
藤元 嘉安 飯村 豊	2008.6.3	県産スギ使い耐震性	宮崎日日新聞
藤元 嘉安	2008.10.9	旬感論 集成材利用へ法改正	宮崎日日新聞
飯村 豊	2008.6.2	世界の研究者木材技術視察	宮崎日日新聞
北田 孝二 上杉 基	2008.12.1	知っとこみやざき	MRT テレビ

3-6 研 修 生

3-6 研 修 生

研修内容	期 日	人数	延 人 日	研修者所属	担当部
木造事務所の構造設計事務	7/22 ～ 8/11	1	2 1	都城工業高等専門学校 建築学専攻科	構法開発部
木質構造の各種構法の研究	7/22 ～ 7/30	2	9	都城工業高等専門学校 建築学科	構法開発部
無機物を摂取によるシロアリ 腸内微生物相の変化に関する 研究	7/15 ～ 8/6	1	2 3	都城工業高等専門学校 物質学専攻科	材料開発部
スギ精油のダニ忌避試験	7/23 ～ 7/30	1	8	都城工業高等専門学校 物質工学科	材料開発部
スギ精油のダニ忌避試験	7/31 ～ 8/7	1	8	都城工業高等専門学校 物質工学科	材料開発部
木構造の構造、接合、実験、 解析	8/4 ～ 8/12	1	9	宮崎大学工学部 土木環境工学専攻科	構法開発部
木材乾燥における省エネルギー化	10/27 ～ 1/30	1	9 6	宮崎大学工学部 機械システム工学専 攻科	材料開発部
スギ接合部の理論解析 スギ門型ラーメンの設計法	9/25 ～ 10/8	1	1 4	韓国ソウル建築事務所 一舎空区	構法開発部
モデル事例の提案 スギ木造ラーメンの検討	12/15 ～ 1/12	1	2 8	韓国ソウル建築事務所 一舎空区	構法開発部
スギを用いた住宅・非住宅の 軸組構法の構造設計	2/12 ～ 3/31	1	4 8	韓国ソウル建築事務所 一舎空区	構法開発部